

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数					
教科名	国語		科目名	現代の国語																			
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●																
教科書・副教材・(発行所)																							
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 副教材：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																							
学 習 の 重 点 目 標																							
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																							
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度																
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施			①授業中の態度や意欲			第1学期	4月 5月	1 自己を見つめる 「こそそめスープ」	7	②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め 意見を発表する活動を実施			②提出物の内容 プリント・副教材			第2学期	6月 7月	2 他者に出会う 「水の東西」 評論の読み方	5 5
	②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価 や振り返りを実施			③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価 や振り返りを実施							★中間考査			第3学期	8月 9月	3 言葉と生活1 分かりやすい説明をしよう				
評 価 の 基 準																							
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)																
				B+			B-																
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			第1学期	10月 11月	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」	6 6	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			第2学期	12月 1月	6 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう	3			
														★期末考査							第3学期	2月 3月	7 世界とつながる 「美しさの発見」
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。			第1学期	12月 1月	7 世界とつながる 「美しさの発見」	7	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができていない。			第2学期	2月 3月	8 未来に目を向ける 「真の自立とは」	7			
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができていない。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題に取り組むことができていない。							★期末考査							第3学期	2月 3月	8 未来に目を向ける 「真の自立とは」
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			第1学期	4月 5月	1 自己を見つめる 「こそそめスープ」	7	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			第2学期	6月 7月	2 他者に出会う 「水の東西」 評論の読み方	5 5			
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							★期末考査							第3学期	8月 9月	3 言葉と生活1 分かりやすい説明をしよう
総 時 間 数																							
																		65					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	現代の国語															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 問題集：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																			
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施												
	評 価 の 基 準																		
A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）													
			B+			B-													
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。			定期考査と小テストで55点～79点の得点である。			定期考査と小テストで30点～54点の得点である。			定期考査と小テストで29点以下の得点である。									
思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができている。			知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。			表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできていない。												
	レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などができる。			レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などができる。			レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などができる。												
主体性・態度	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。			真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。			主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。												
	振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。			振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。			振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。												
総 時 間 数																			64

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	国語		科目名	言語文化																
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →					●									
教科書・副教材・(発行所)																				
① 新編言語文化 (東京書籍) ② 新編言語文化 学習課題ノート ③ 常用漢字ダブルクリア 四訂版 (尚文出版) ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたり社会生活に必要な国語の知識や技術を見つけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																				
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
	評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)												
				B+		B-														
知・技	定期考査と小テストで80点以上の得点である。				定期考査と小テストで55点～79点の得点である。		定期考査と小テストで30点～54点の得点である。		定期考査と小テストで29点以下の得点である。											
	思・判・表	知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができている。				知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように表現することが概ねできている。				表現したいことを明確にしたり、自分の体験や思いが伝わる表現をしたりすることがあまりできていない。										
主体性・態度		レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などをすることができている。				レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることが概ねできている。				レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることがあまりできていない。										
	常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。				真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。				主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。											
振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。				振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。				振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。												
総 時 間 数																				
60																				

第1学期
第2学期
第3学期

4月 5月	・(随想) さくらさくらさくら (俵万智)	6
6月 7月	・(古文) 宇治拾遺物語「児のそら寝」 ・(小説) とんかつ (三浦哲郎) ・読書感想文	3 5 1
8月 9月	・(詩) 冬が来た (高村光太郎) 他 ・(古文) 徒然草 ・(漢文) 故事成語	4 4 5
10月 11月	・(小説) 羅生門 ・(古文) 枕草子	1 9 4
12月 1月	・(漢詩) 鹿柴 他	1 4
2月 3月	・(小説) デューク (江國香織) ・(詩歌) 柳あをめる (短歌) 雪の深さを (俳句)	6 4
	・期末考査	1

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語		科目名	言語文化														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●										
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：新編言語文化（東京書籍） ② 問題集：新編言語文化 学習課題ノート（東京書籍） 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文） ③ 参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） 問題集：必携古典文法練習ノート（尚文） ④ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） 問題集：必携新明説漢文ノート（尚文出版）																		
学 習 の 重 点 目 標																		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。すなわち、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問						①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施						①授業中の態度や意欲					
	②小テストの出来具合 教科書で学習した内容について 小テストを実施						②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施						②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施					
評 価 の 基 準																		
A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。						自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができる。						自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。					
	文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができる。						文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができる。						文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。					
主体性・態度	計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																69		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数																																		
教科名	国語		科目名	言語文化																																															
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●																																										
教科書・副教材・(発行所)																																																			
① 教科書：新編言語文化（東京書籍） ② 問題集：新編言語文化 学習課題ノート（東京書籍） 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文） ③ 参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） 問題集：必携古典文法練習ノート（尚文） ④ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） 問題集：必携新明説漢文ノート（尚文出版）																																																			
学 習 の 重 点 目 標																																																			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。すなわち、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																																																			
評 価 の 基 準																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">知識・技能</th> <th colspan="2">思考・判断・表現</th> <th colspan="2">主体的に学習に取り組む態度</th> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問</td> <td style="width: 25%;">②小テストの出来具合 教科書で学習した内容について 小テストを実施</td> <td style="width: 25%;">①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施</td> <td style="width: 25%;">②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施</td> <td style="width: 25%;">①授業中の態度や意欲</td> <td style="width: 25%;">②提出物の内容 プリント・副教材</td> <td style="width: 25%;">③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施</td> </tr> </table>																			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問	②小テストの出来具合 教科書で学習した内容について 小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施	②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施	①授業中の態度や意欲	②提出物の内容 プリント・副教材	③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施																				
	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度																																														
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問	②小テストの出来具合 教科書で学習した内容について 小テストを実施	①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施	②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施	①授業中の態度や意欲	②提出物の内容 プリント・副教材	③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施																																												
評 価 の 基 準																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">A（十分満足できる状況）</th> <th colspan="2">B（概ね満足できる状況）</th> <th rowspan="2">C（努力を要する状況）</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>B+</th> <th>B-</th> </tr> <tr> <td>知・技</td> <td colspan="2">定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解できている。</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。</td> <td>定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。</td> </tr> <tr> <td>思・判・表</td> <td colspan="2">自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができて</td> <td>自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができて</td> <td>自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。</td> <td>自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。</td> </tr> <tr> <td>主体性・態度</td> <td colspan="2">計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。</td> <td>真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。</td> <td>あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。</td> <td>あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。</td> <td>振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。</td> <td>振り返るべき内容をあまり考えることができていない。</td> <td>振り返るべき内容をあまり考えることができていない。</td> </tr> </table>																			A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）			B+	B-	知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解できている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。	思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができて		自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができて	自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。	自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。	主体性・態度	計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。	あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。	あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。	振り返るべき内容をあまり考えることができていない。	振り返るべき内容をあまり考えることができていない。
	A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）																																														
			B+	B-																																															
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解できている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。	定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。																																														
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができて		自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができて	自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。	自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。																																														
主体性・態度	計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。	あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。	あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。																																														
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。	振り返るべき内容をあまり考えることができていない。	振り返るべき内容をあまり考えることができていない。																																														
第 1 学 期																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">4月</td> <td style="width: 10%;">(現) 1. 随筆 さくらさくらさくら ○「花」といえば「桜」?</td> <td style="width: 5%;">5</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>(古) 1. 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝/古文学習のしるべ1 【中間考査】</td> <td>1 4 1</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>(古) 1. 古文入門 絵仏師良秀 古文学習のしるべ2・3</td> <td>4 4</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>(現) 2. 小説 とんかつ 【期末考査】</td> <td>1 4 1</td> </tr> </table>																		4月	(現) 1. 随筆 さくらさくらさくら ○「花」といえば「桜」?	5	5月	(古) 1. 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝/古文学習のしるべ1 【中間考査】	1 4 1	6月	(古) 1. 古文入門 絵仏師良秀 古文学習のしるべ2・3	4 4	7月	(現) 2. 小説 とんかつ 【期末考査】	1 4 1																						
4月	(現) 1. 随筆 さくらさくらさくら ○「花」といえば「桜」?	5																																																	
5月	(古) 1. 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝/古文学習のしるべ1 【中間考査】	1 4 1																																																	
6月	(古) 1. 古文入門 絵仏師良秀 古文学習のしるべ2・3	4 4																																																	
7月	(現) 2. 小説 とんかつ 【期末考査】	1 4 1																																																	
第 2 学 期																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">8月</td> <td style="width: 10%;">(古) 2. 随筆 徒然草・枕草子 古文学習のしるべ4</td> <td style="width: 5%;">6 6</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>(漢) 1. 漢文入門 訓読の基本 ○漢字の読みと意味 【中間考査】</td> <td>5 2 2 1</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>(漢) 1. 漢文入門 故事成語～三編</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>(現) 4. 小説 羅生門 ○元になった古典作品と比べよう 【期末考査】</td> <td>8 5 1</td> </tr> </table>																		8月	(古) 2. 随筆 徒然草・枕草子 古文学習のしるべ4	6 6	9月	(漢) 1. 漢文入門 訓読の基本 ○漢字の読みと意味 【中間考査】	5 2 2 1	10月	(漢) 1. 漢文入門 故事成語～三編	8	11月	(現) 4. 小説 羅生門 ○元になった古典作品と比べよう 【期末考査】	8 5 1																						
8月	(古) 2. 随筆 徒然草・枕草子 古文学習のしるべ4	6 6																																																	
9月	(漢) 1. 漢文入門 訓読の基本 ○漢字の読みと意味 【中間考査】	5 2 2 1																																																	
10月	(漢) 1. 漢文入門 故事成語～三編	8																																																	
11月	(現) 4. 小説 羅生門 ○元になった古典作品と比べよう 【期末考査】	8 5 1																																																	
第 3 学 期																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">12月</td> <td style="width: 10%;">(古) 3. 詩歌 折々のうた 古文学習のしるべ5</td> <td style="width: 5%;">2</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>(古) 4. 物語 伊勢物語 平家物語</td> <td>4 4</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>(漢) 2. 漢詩 絶句と律詩～七首 漢文の窓2～漢詩の形式ときまり</td> <td>4 2</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>(現) 3. 詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born 【期末考査】</td> <td>4 1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">総 時 間 数</td> <td style="text-align: center;">89</td> </tr> </table>																		12月	(古) 3. 詩歌 折々のうた 古文学習のしるべ5	2	1月	(古) 4. 物語 伊勢物語 平家物語	4 4	2月	(漢) 2. 漢詩 絶句と律詩～七首 漢文の窓2～漢詩の形式ときまり	4 2	3月	(現) 3. 詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born 【期末考査】	4 1	総 時 間 数		89																			
12月	(古) 3. 詩歌 折々のうた 古文学習のしるべ5	2																																																	
1月	(古) 4. 物語 伊勢物語 平家物語	4 4																																																	
2月	(漢) 2. 漢詩 絶句と律詩～七首 漢文の窓2～漢詩の形式ときまり	4 2																																																	
3月	(現) 3. 詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born 【期末考査】	4 1																																																	
総 時 間 数		89																																																	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	地理歴史		科目名	歴史総合														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●								第1学期	4月	第1部 近代化と私たち 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新	3 2 2 2
教科書・副教材・(発行所)																		
① 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版)																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																		
評 価 の 基 準																		
評 価 の 趣 旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2学期	8月	3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦	2 2 2 2 2					
	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容 を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施				9月	13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立 第3部 グローバル化と私たち 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」	3 3 3 3					
知 ・ 技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)			第3学期	10月	3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争	2 2 2 2 2						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。				11月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	3 3 3						
思 ・ 判 ・ 表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			2月	12月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	3 3 3						
	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。				1月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	3 3 3						
主 体 性 ・ 態 度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			3月	2月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	3 3 3						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				3月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題	3 3 3						
総 時 間 数																65		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数					
教科名	地理歴史		科目名	歴史総合													学 習 内 容	時数						
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●															
教科書・副教材・(発行所)																								
① 歴史総合 近代から現代へ (山川出版社)																								
②																								
③																								
④																								
学 習 の 重 点 目 標																								
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																								
知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施					①課題・レポートの内容 各单元ごとに課題やレポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施					①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリントなど ③自己評価・振り返り 各单元・考査後に自己評価や振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																							
A (十分満足できる状況)					B (概ね満足できる状況)					C (努力を要する状況)														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。					定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。					定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。					定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。					探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。					探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。					各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。					各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。												
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。					真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。					あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。					振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。					振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																								
																		67						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民		科目名	公共														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：公共（実教出版） ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施						①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施					
	評 価 の 基 準																	
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				
各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。						各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。						各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができている。					
総 時 間 数																	60	

第1学期

第2学期

第3学期

2月～3月

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民		科目名	公共														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：公共（実教出版704） ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書、授業プリントの内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施						①レポートの内容 探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 ③自己評価 章ごとに振り返りを実施					
	評 価 の 基 準																	
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				
各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。						各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。						各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																	57	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	数学		科目名	数学 I														
単位数	4	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 高校数学 I (実教出版) ② ステップノート (実教出版) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問						①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価						①授業中の態度や意欲を評価					
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施						②定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価						②課題レポートや問題集の提出状況を評価					
						③練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価						③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価						
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																	94	

第 1 学期

第 2 学期

第 3 学期

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

1章 数と式
1節 整式

★中間考査

2節 実数

★期末考査

3節 方程式と不等式

2章 2次関数
1節 関数とグラフ

★中間考査

2節 2次関数の値の変化

3章 三角比
1節 三角比

★期末考査

1節 三角比
2節 三角比の応用

★中間考査

4章 集合と論証
1節 集合と論証

5章 データの分析
1節 データの分析

★期末考査

15
8
4
12
9
3
5
10
7
12

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	数学		科目名	数学 I																	
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →												第 1 学期	4月	第1章 数と式 第1節 多項式 第2節 実数	6 6
教科書・副教材・(発行所)																	5月		中間考査	1	
① 教科書 深進数学 I (啓林館) ② 問題集 深進準拠問題集 演習思考編 Grasp 数学 I+A (啓林館) ③ ④																	第 2 学期	6月	第1章 数と式 第3節 1次不等式	4	
学 習 の 重 点 目 標																		7月	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 2次関数の最大・最小	4 5	
①数と式, 図形と計量, 二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ②数学的活動を通りして, 論理的に考察し表現する力, 表, 式, グラフを相互に関連付けて考察する力, 適切な手法を選択して分析し, 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 ③数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																	8月	第2章 2次関数 第3節 2次関数と方程式不等式	10		
知識・技能																	第 3 学期	9月	第3章 集合と命題 第1節 集合と命題	9	
思考・判断・表現																		10月	第4章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 三角比の拡張 第3節 正弦定理と余弦定理	6 6 8	
主体的に学習に取り組む態度																	11月	中間考査	1		
評価の趣旨	1. 中間・期末考査にて測る			1. 単元ごとの課題レポートにて測る			1. 授業中の様子										第 3 学期	12月	第4章 図形と計量 第4節 図形の計量	6	
	2. 単元ごとの小テストにて測る			2. グループ活動への取り組みやその成果にて測る			2. 提出物の提出率とその内容			3. 振り返り用紙の内容								1月	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析	8	
評 価 の 基 準																	第 3 学期	2月	第5章 データの分析 第2節 統計的探求プロセス 問題演習	2 7	
A (十分満足できる状況)																		3月	期末考査	1	
B (概ね満足できる状況)																	総 時 間 数			92	
B+																					
B-																					
C (努力を要する状況)																					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができる。			定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組みることができていない。														
思・判・表	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	数学		科目名	数学 I																	
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →												第1学期	4月	第1章 数と式 第1節 多項式 第2節 実数	7 3
教科書・副教材・(発行所)																	5月		☆ 中間考査	1	
① 教科書：数学I (啓林館：数I709) ② 問題集：アドバンスα 数学I+A (啓林館) ③ 参考書：Focus Gold 5th Edition (啓林館) ④																	第2学期	6月	第3節 1次不等式 第3章 集合と命題 第1節 集合 第2節 命題と証明	3 2 8	
学 習 の 重 点 目 標																		7月	☆ 期末考査	1	
(1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について，基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。 (2) 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 (3) 問題演習において，他者と対話しながら，協働して学習する姿勢を身に付け自らの理解度を高める。																	第3学期	8月	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 2次関数の最大・最小 第3節 2次関数と方程式・不等式	4 9 8	
評 価 の 基 準																		9月	☆ 中間考査	1	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
	①定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 授業で学習した内容について小テストを実施			①定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価 ②練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価			①授業中の態度や意欲を評価 ②課題レポートや問題集の提出状況を評価 ③定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価														
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
				B+			B-														
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			第3学期											
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。														
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			第3学期											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																	12月	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析	17		
総 時 間 数																	1月	第2節 統計的探究プロセス	5		
総 時 間 数																	2月	☆ 期末考査	1		
総 時 間 数																	3月	☆ 期末考査	1		
総 時 間 数																	総 時 間 数		92		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	数学		科目名	数学A																
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →												第1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 問題演習	5 2
教科書・副教材・(発行所)																				
① 教科書 深進数学A (啓林館)																				
② 問題集 深進準拠問題集 演習思考編 Grasp 数学I+A (啓林館)																				
③																				
④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
①図形の性質, 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。																				
②図形の構成要素間の関係などに着目し, 図形の性質を見だし論理的に考察する力, 不確実な事象に着目し, 確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力, 数学と人間の活動との関わりに着目し, 事象に数学の構造を見だし数理的に考察する力を養う。																				
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	1. 中間・期末考査にて測る 2. 単元ごとの小テストにて測る				1. 単元ごとの課題レポートにて測る 2. グループ活動への取り組みやその成果にて測る				1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 振り返り用紙の内容											
	評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)												
				B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり, 基本から応用まで万遍なく理解することができる。				定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり, 基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, 自分の考えを发表或し, 適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み, ある程度自分の考えを述べたり, 表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組みることができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組む, 論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができる。				応用的な問題に取り組む, ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む, グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが, もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ, 次の取り組みにしっかり活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが, 次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																				
																		70		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	数学		科目名	数学A															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：数学A (啓林館、数学A709)																			
② 問題集：アドバンスα I+A (啓林館)																			
③ 参考書：FocusGold 数学I+A (啓林館)																			
④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																			
② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																			
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度							
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 考査の問題は教科書や問題集の内容を中心に作問						① 定期考査毎に問題集への取り組み状況や記述内容を評価						① 授業中の態度や意欲を評価						
	② 小テストの出来具合 教科書の学習した内容についての10分間小テストを実施						② 定期考査後の振り返り課題レポートの記述内容を評価						② 課題レポートや問題集の提出状況を評価						
						③ 練習問題や探究課題についてのグループ活動や発表の内容を評価						③ 定期考査後に実施する自己評価・振り返り課題の提出状況や記述内容を評価							
評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)							
						B+			B-										
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現できている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。						応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。						応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						
総 時 間 数																			
																			61

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科		科目名	科学と人間生活														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：科学と人間生活703 (啓林館)																		
② 副教材：科学と人間生活の学習ノート 書き込み式傍用問題集 (啓林館)																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。						①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。						①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合(すべての問題ができていないか、答え合わせややり直しなどができているかなど)。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。					
	評 価 の 基 準																	
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。					
	思・判・表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組む、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。						探求レポートやグループ活動に取り組む、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。						探求レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。				
発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることができる。						発展・応用的な問題に対して、さまざまな知識を活用して思考、判断することが出来る。						発展・応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。						
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。						自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。						自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。					
	毎回の授業に真剣に取り組む、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。						毎回の授業に真剣に取り組む、提出物も出しており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。						毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。					
総 時 間 数																	66	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	理科		科目名	物理基礎														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●	●								
教科書・副教材・(発行所)																		
① 高等学校 物理基礎(705) 啓林館 ② ステップアップノート 物理基礎 新訂版 啓林館 ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験 などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。																		
②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施						①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施						①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施					
	評 価 の 基 準																	
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から発展まで万遍なく理解できている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表																	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。						探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。						探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。					
	主体性・態度																	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言できている。						真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。					
	総 時 間 数																	
																		63

第1学期
第2学期
第3学期

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

第1部 物体の運動とエネルギー
第1章 物体の運動
第1節 速度
第2節 加速度
第3節 落体の運動
【中間考査】
第2章 力と運動
第1節 力
第2節 運動の法則
第3節 様々な力と運動
1章・2章 問題演習
【期末考査】
第3章 仕事とエネルギー
第1節 仕事
第2節 運動エネルギー
第3節 位置エネルギー
第4節 力学的エネルギーの保存
第2部 熱とエネルギー
【中間考査】
第3部 波動
第1章 波の性質
第1節 波の伝わり方
第2節 波の性質
第2章 音波
第1節 音波の性質 第2節 音波の振動
【期末考査】
第4部 電磁気
第1章 静電気と電流
第1節 静電気 第2節 電流
第2章 交流と電磁波
第1節 電磁誘導と発電機
第2節 交流と電磁波
第5部 物理と私たちの生活
第1章 エネルギーとその利用
第2章 物理学が拓く未来
物理基礎問題演習
【期末考査】

2
2
2
1
2
2
2
2
8
1
3
3
6
1
4
2
3
3
2
2
1

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	理科		科目名	生物基礎													学 習 内 容	時数		
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●									4月 5月	1編1章 生物の多様性と共通性 1~3節	7	
教科書・副教材・(発行所)																				
① 生物基礎・ニューグローバル生物基礎・(東京書籍)																				
②																				
③																				
④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
自然の事物・現象に関わり，理科の見方・考え方を働かせ，見通しをもって観察，実験を行うことなどを通して，自然の事物・現象を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す																				
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について小テストを実施				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題を実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてのグループ活動及び発表を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 授業プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 単元毎に自己評価・振り返りを実施											
	評 価 の 基 準																			
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)											
					B+		B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり，基本から発展まで万遍なく理解することができる。				定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストば合計得点が30点未満であり，基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，自分の考えを发表或し，適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み，ある程度自分の考えを述べたり，表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	発展的な内容も意欲的に学習し，身近な事物・現象に対し科学的な見方や考え方が身についている。				発展的な内容も学習し，ある程度の科学的に見方や考え方が身についている。				発展的な内容を学習することができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む，グループ活動においても積極的に発言できている。				真面目に学習に取り組んではいるが，もう少し積極性を要する部分がある。				学習面・活動面においてもあまり取り組む気持ちがない。											
	振り返るべき内容をきちんと考え，次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容は考えられているが，次の取り組みに活かすことがあまりできていない。				振り返るべき内容をあまり考えられていない。											
																	8月 9月	2編1章 遺伝情報とDNA 3節 2編2章 遺伝情報とタンパク質 1~3節 3編1章 体内環境と情報伝達 1~3節	2 5 10	
																		【中間考査】	1	
																	10月 11月	3編1章 体内環境と情報伝達 4節 3編2章 免疫のはたらき 1~3節	6 10	
																		【期末考査】	1	
																	12月 1月	4編1章 植生と遷移 1~3節	9	
																	2月 3月	4編2章 生態系と生物の多様性 1~4節	10	
																		【期末考査】	1	
総 時 間 数																				
																	73			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	理科		科目名	生物基礎														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →				●								
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：生物基礎701（東京書籍） ② 副教材：ニューグローバル生物基礎（生物基礎） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができるかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。						①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、						①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができているか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学習に取り組む姿勢を養う。					
	評 価 の 基 準																	
A（十分満足できる状況）						B（概ね満足できる状況）						C（努力を要する状況）						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。					
	思・判・表						思・判・表						思・判・表					
思・判・表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組み、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。						探求レポートやグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。						探求レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。					
	発展・応用的な問題にも、筋道をたてて考える力や図やグラフなどを読み取り情報を活用する力を身につけることが出来る。						発展・応用的な問題に対して、さまざまな知識を活用して思考、判断することが出来る。						発展・応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。					
主体性・態度						主体性・態度						主体性・態度						
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。						自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。						自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。					
	毎回の授業に真剣に取り組み、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。						毎回の授業に真剣に取り組み、提出物も出しており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。						毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心に欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。					
総 時 間 数																		
																		64

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	保健体育		科目名	体育 (男)															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●												
教科書・副教材・(発行所)																			
① 現代高等保健体育 (大修館書店) ② Active Sports2023 [総合版] (大修館書店) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度												
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
				B+		B-													
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考査。											
	思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。		真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
主体性・態度		運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
	振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		振り返るべき内容をあまり考え		振り返るべき内容をあまり考え											
																	総 時 間 数	60	

第1学期

第2学期

第3学期

- 4月 01. オリエンテーション
- 02. 集団行動・体づくり運動
- 03. 新体力テスト (スポーツテスト) ①
(握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び)
- 5月 04. 高校生体操 01~05番
- 05. 高校生体操 06~10番
- 06. 実技テスト① 個人
- 6月 07. 高校生体操 11~16番
- 08. 高校生体操 01~16番 (完)
- 09. 実技テスト② 個人
- 10. 実技テスト③ グループ
- 7月 11. 実技テスト④ グループ
- 評価・反省
- 8月 12. 新体力テスト (スポーツテスト) ②
(持久走・50m走・立ちとびハンドボール投げ)
- 13. 陸上 (リレー) バトンタッチの技術
- 14. 記録
- 9月 15. 陸上 (砲丸投げ) 投てきの技術
- 16. 記録
- 評価・反省
- 10月 21. サッカー (ドリブル・パス・シュート)
- 22. 実技テスト① ドリブル
- 23. 実技テスト② パス
- 24. 実技テスト③ シュート
- 11月 25. ゲーム
- 評価・反省
- 12月 21. バレーボール (レシーブ・パス・サーブ)
- 22. 実技テスト① レシーブ
- 23. 実技テスト② レシーブ・パス
- 24. 実技テスト③ サーブ
- 1月 25. ゲーム
- 評価・反省
- 2月 26. 体育理論 (スポーツの発祥と発展)
- 27. 実技理論
(集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール)
- 28. ★期末考査
- 3月 評価・反省
- 期末考査

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	保健体育		科目名	体育（男）														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 現代高等保健体育（大修館書店） ② Active Sports2023〔総合版〕（大修館書店） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト（記録）の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備（服装・体操）に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度											
	評 価 の 基 準																	
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）											
				B+		B-												
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55～79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30～54点である。 3学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考											
	思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
主体性・態度		運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
	総 時 間 数																	

第1学期
第2学期
第3学期

4月～5月
6月～7月
8月～9月
10月～11月
12月～1月
2月～3月

オリエンテーション
スポーツテスト①
高校生体操
高校生体操
高校生体操
実技試験
実技試験
実技試験
スポーツテスト②
サッカー
(パス・ドリブル・シュート)
実技試験
陸上競技
(走り幅跳び・砲丸投げ)
実技試験
バレーボール
(アンダーパス・オーバーパス・スパイク・サーブ)
実技試験
体育理論
●期末考査

7
10
16
15
15
3
1
67

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	保健体育		科目名	体育(女)															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●											
教科書・副教材・(発行所)																			
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2023[総合版](大修館書店) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																			
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度												
	評 価 の 基 準																		
A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)													
			B+	B-															
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。 3学期のみ実技	実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考査。												
	思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
主体性・態度		運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
	総 時 間 数																		
																	4月 5月	7	
																	6月 7月	8	
																	8月 9月	13	
																	10月 11月	15	
																	12月 1月	13	
																	2月 3月	3	
																	●期末考査	1	
																	総 時 間 数	60	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	保健体育		科目名	体育(女)																
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●											
教科書・副教材・(発行所)																				
① 現代高等保健体育(大修館書店) ② Active Sports2023[総合版](大修館書店) ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																				
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	①各種の運動ごとに実施する実技テスト(記録)の出来具合 ②新体力テストの出来具合 ③3学期のみ定期考査の出来具合			①各種の運動に応じた技能向上への取り組み ②グループ活動や技術達成のための取り組み ③感謝や思いやりから協力する姿勢や取り組み			①授業中の態度や意欲 ②授業への準備(服装・体操)に対する姿勢や態度 ③自己評価・振り返り・反省への態度													
	評 価 の 基 準																			
	A(十分満足できる状況)			B(概ね満足できる状況)			C(努力を要する状況)													
				B+		B-														
知・技	実技テストと新体力テストの合計が80点以上であり基本的な技術が習得できている。 3学期のみ実技テストと定期考査。			実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。 3学期のみ実技		実技テストと新体力テストの合計が30点未満であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。 3学期のみ実技テストと定期考査。												
思・判・表	グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			グループ活動や課題となる運動技術の習得にあまり取り組むことができていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
	運動技術の習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。 振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 振り返るべき内容をあまり考えることができていない。													
主体性・態度																				
																	第1学期	4月 5月	オリエンテーション スポーツテスト① 高校生体操	6
																	第1学期	6月 7月	○実技試験 高校生体操	10
																		第2学期	8月 9月	
																	第2学期	10月 11月	○実技試験 陸上競技 (走り幅跳び・砲丸投げ)	15
																		第3学期	12月 1月	
																	第3学期		2月 3月	○実技試験 体育理論
																				●期末考査
																	総 時 間 数		66	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	保健体育		科目名	保健															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●												
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材：図説現代高等保健体育(大修館書店) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分程度の小テストを実施			①課題レポートの内容 学期ごとに探求課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探求課題などについてのグループ活動を実施			①授業態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・ノート ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施												
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
				B+		B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。			定期考査と小テストの合計が55～79点である。		定期考査と小テストの合計が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的な知識や概念が理解出来てない。											
思・判・表	探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することが出来ている。			探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。			探求的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。												
	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。			応用的な問題にも取り組み、ある程度の思考力や判断力が身に付けることが出来ている。			応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。												
主体性・態度	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やノートなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ			真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。			振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり生きていない。			振り返るべき内容をあまり考えることが出来ない。												
総 時 間 数																			

第1学期

第2学期

第3学期

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

◇オリエンテーション
◇現代社会と健康
01健康の考え方と成り立ち
02私たちの健康のすがた

☆中間考査

03生活習慣病の予防と回復
04がんの原因と予防
06運動と健康
07食事と健康

☆期末考査

08休養・睡眠と健康
09喫煙と健康
10飲酒と健康
11薬物乱用と健康

☆中間考査

15現代の感染症
16感染症の予防
17性感染症・エイズとその予防

◇生涯を通じる健康
02思春期と健康
☆期末考査

03性意識と性行動の選択
04妊娠・出産と健康

05避妊法と人工妊娠中絶
06結婚生活と健康

☆期末考査

7

11

16

16

17

1

68

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	保健体育		科目名	保健														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●	●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材：図説現代高等保健体育(大修館書店) ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分程度の小テストを実施			①課題レポートの内容 学期ごとに探求課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探求課題などについてのグループ活動を実施			①授業態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・ノート ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施											
	評 価 の 基 準																	
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
				B+		B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。			定期考査と小テストの合計が55～79点である。		定期考査と小テストの合計が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的な知識や概念が理解出来てない。											
思・判・表	探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することが出来ている。			探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。			探求的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。											
	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。			応用的な問題にも取り組み、ある程度の思考力や判断力が身に付けることが出来ている。			応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。											
主体性・態度	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やノートなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ			真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。			振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり生きていない。			振り返るべき内容をあまり考えることが出来ない。											
総 時 間 数																		

第1学期
第2学期
第3学期

4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

◇オリエンテーション
◇現代社会と健康
01健康の考え方と成り立ち
02私たちの健康のすがた
☆中間考査
03生活習慣病の予防と回復
04がんの原因と予防
06運動と健康
07食事と健康
☆期末考査
08休養・睡眠と健康
09喫煙と健康
10飲酒と健康
11薬物乱用と健康
☆中間考査
15現代の感染症
16感染症の予防
17性感染症・エイズとその予防
◇生涯を通じる健康
02思春期と健康
☆期末考査
03性意識と性行動の選択
04妊娠・出産と健康
05避妊法と人工妊娠中絶
06結婚生活と健康
☆期末考査

9
9
13
15
12
1

59

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	芸術		科目名	音楽 I															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① MOUSA I ② 音楽の研究プリント ③ ワークプリント ④ クロムブック																			
学 習 の 重 点 目 標																			
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる基礎的な資質・能力を育成する。																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】				自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】				主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】										
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										
					B+		B-												
知・技	基本的な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。				基本的な知識や技能が概ね身についている。		基本的な知識や技能がある程度身についている。		基礎的な知識や技能、理解力が不足しており、実技発表に反映できていない。										
	思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。				演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。		演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができている。									
楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。				楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。		教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができている。											
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。				楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。										
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。				楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。										
総 時 間 数																			65

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	芸術		科目名	美術 I															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① 高校美術1 (38-光村・美I-701)																			
②																			
③																			
④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を学び、育成することを目指す。																			
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①作品の出来具合(作品完成度)				①作品の表現力(独創的・オリジナリティ)				①授業態度(教師の観察)				第1学期 4月 【ミーティング】 【絵画】スケッチ 【デザイン】ポスター制作 【デザイン】文字のデザイン 5月 6月 【絵画】スケッチ 【デザイン】ポスター制作(コラージュ) 【デザイン】デジタル練習1 7月 【課題】レポート						
	②レポートの出来具合				②作品制作の進捗具合				②学習意欲(制作進捗度合い) ③提出物等										
評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)											
				B+		B-													
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。				基本的な知識や技術が理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。		基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。				第2学期 8月 【絵画】スケッチ 【デザイン】線の模様 【デザイン】デジタル練習2 9月 10月 【絵画】スケッチ 【工芸】連続する模様 【デザイン】デジタル練習3 11月 【課題】レポート						
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。				作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。				第3学期 12月 【絵画】スケッチ 【工芸】切り絵 【デザイン】デジタル練習4 1月 2月 【絵画】スケッチ 【課題】レポート 3月						
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。				自分の考えをある程度、表現することができる。				自分の考えを思い通りに表現することができていない。										
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。				鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。										
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。				制作において、積極性を要する部分がある。				前向きな気持ちで制作に取り組めていない。										
総 時 間 数																	62		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	芸術		科目名	書道 I														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●	●	●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 高等学校芸術科書道 I (38光村・書 I 701)																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	①毎時間、作品の提出によって完成度を評価する ②小テストによって評価する			①作品の独創的表現力によって評価する ②作品の価値と根拠をよく考え書の良さや美しさを味和わって捉えているか評価する			①授業中の態度 ②学習意欲 ③提出物・忘れ物等			第 1 学期 4月～5月 書へのいぎない 漢字の変遷と様々な書体 漢字の書(楷書) 孔子廟堂碑 九成宮禮泉銘 雁塔聖教序 7 6月～7月 漢字の書(楷書) 顔氏家廟碑 牛擲造像記 隅寺心経 漢字の書(行書) 蘭亭序 9								
	評 価 の 基 準																	
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
				B+		B-												
知・技	作品創作のための技能・知識正確に理解し十二分に身に付けている。			ほぼ理解し概ね身に付けている。		理解しようとしているがあまり身に付けていない。	理解しようとしせずほとんど身に付けていない			第 2 学期 8月～9月 日本の書 争坐位文稿 蜀素帖 風信帖 三筆・三跡の書(草書) 真草千字文 15 10月～11月 篆 刻 (隸書) 曹全碑 (篆書) 泰山刻石 14								
	作品創作のための技能・知識正確に理解し十二分に身に付けている。			ほぼ理解し概ね身に付けている。		理解しようとしているがあまり身に付けていない。	理解しようとしせずほとんど身に付けていない											
思・判・表	創造的な構想や表現が意図的に基づいてよく工夫し表現することが十二分にできている。			創造的な構想や表現が概ねできている。			創造的な構想や表現があまりできていない。			第 3 学期 12月～1月 漢字創作 書初め作品 仮名の書 平仮名 変体仮名 古筆(高野切・蓬萊切) 14								
	書に対する見方、考え方、捉え方をよく考察し述べるができる。			概ね自分の見方、考え方、捉え方を述べるができる。			書に対する自分の考え方・捉え方ができていない。											
主体性・態度	積極的に与えられた課題や作品創作に取り組んでいる。			作品創作において、積極的に取り組もうとしている。			作品創作に全く取り組んでいない。			2月～3月 創 作 漢字仮名交じり書 2								
	積極的に鑑賞の各活動に取り組んでいる。			鑑賞の各活動に積極的にと取り組もうとしている。			鑑賞の各活動に取り組んでいない。											
総 時 間 数																	62	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅠ															
単位数	4	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●												
教科書・副教材・(発行所)																			
① VISTA English Communication I (三省堂) ② VISTA English Communication I WORKBOOK(三省堂) ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 Workbook1																			
学 習 の 重 点 目 標																			
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																			
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出题する。			課題や提出物の出来具合により評価する。			日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。			第1学期									
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
			B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。			第2学期									
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。			課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。			課題や提出物にあまり取り組むことができていない。			第3学期									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			第4学期									
	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができている。			英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。			英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
総 時 間 数																			125

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数																																			
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅠ																																																
単位数	3	学科	普通科	学年	1年 該当するコース・科 →																																															
教科書・副教材・(発行所)																																																				
① LANDMARK Fit English Communication I (啓林館) ② LANDMARK Fit English Communication I WORKBOOK (啓林館) ③ 英単語ターゲット1400 (旺文社) ④ 英単語ターゲット1400 Workbook 1 (旺文社)																																																				
学 習 の 重 点 目 標																																																				
基本的な文法事項を理解し、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																																																				
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																																												
評価の趣旨	小テスト及び定期考査による合計得点で評価する。出題範囲は授業で取り扱った内容とワークブックから出題する。				提出物の出来具合や授業内での発言やグループ活動での発表内容で評価する。				提出物の提出状況や授業内での発言や授業への参加などの積極性を評価する。																																											
	評 価 の 基 準																																																			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)																																												
				B+		B-																																														
知・技	定期試験と小テストの合計得点が80点以上であり、学んできた事項を理解していることが見受けられるとき。				定期考査と小テストの合計が55～79点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30～54点であるとき。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、学んできた事項の基本的な知識があまり定着していないとき。																																											
思・判・表	提出課題の内容で、学んだ事項を適切に理解できていると見受けられ、正しく応用できているとき。				課題の内容で不正確な部分はあるが、学んだ事項を使いながら、正しい文章を作ろうとしているとき。				課題や提出物に取り組めておらず、授業内でも既習事項の適切な表現を使うことができていないとき。																																											
主体性・態度	提出物が期限内に提出されており、自己の学習内容が定着していると考えられるとき。				提出物を最終提出期限内に提出できている。				提出物が提出されておらず、自己の学習が定着していることが見受けられないとき。																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">第1学期</td> <td style="width: 20px;">4月～5月</td> <td style="width: 60px;">Lesson 1 Enjoy Your Journey!</td> <td style="width: 20px;">11</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2学期</td> <td>6月～7月</td> <td>Lesson 2 Curry Travels around the World</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3学期</td> <td>8月～9月</td> <td>Lesson 4 Eco-Tour on Yakusima</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1学期</td> <td>10月～11月</td> <td>Lesson 5 Bailey the Facility Dog</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2学期</td> <td>12月～1月</td> <td>Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 1 Part 2</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3学期</td> <td>2月～3月</td> <td>Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 3 Part 4</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">総 時 間 数</td> <td style="text-align: center;">87</td> </tr> </table>																			第1学期	4月～5月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	11		第2学期	6月～7月	Lesson 2 Curry Travels around the World	15		第3学期	8月～9月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakusima	16		第1学期	10月～11月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	19		第2学期	12月～1月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 1 Part 2	16		第3学期	2月～3月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 3 Part 4	10	総 時 間 数				87
	第1学期	4月～5月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	11																																																
	第2学期	6月～7月	Lesson 2 Curry Travels around the World	15																																																
	第3学期	8月～9月	Lesson 4 Eco-Tour on Yakusima	16																																																
	第1学期	10月～11月	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	19																																																
	第2学期	12月～1月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 1 Part 2	16																																																
	第3学期	2月～3月	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere Part 3 Part 4	10																																																
総 時 間 数				87																																																

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	外国語【英語】		科目名	英語コミュニケーションⅠ														
単位数	3	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →				●								
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：LANDMARK English Communication I (啓林館) ② 問題集：LANDMARK English Communication I ワークブック (啓林館) ③ 副教材：改訂第2版 キクタン【Basic】4000 語レベル (アルク)																		
学 習 の 重 点 目 標																		
外国語によるコミュニケーションにおいて、以下の5つの領域でそれぞれの見方・考え方を働かせる事を目標とする。また、言語活動やそれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現し伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 聞くこと (2) 読むこと (3) 話すこと [やり取り] (4) 話すこと [発表] (5) 書くこと																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材、単語帳の内容を中心に作問) ②小テストの得点 (単語帳の内容に関して毎週10分間の小テストを実施)				グループ・ペア活動の内容 (テーマのもと、英語で自分の考えを表現する活動を定期的に行う)				①授業中の態度・意欲 ②提出物の状況 (問題集)									
	評 価 の 基 準																	
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
					B+		B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期テストと小テストの合計得点が55～79点である。		定期テストと小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
思・判・表	探究的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。				探究的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。				探究的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。									
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。									
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。				コミュニケーションを取ることができていない。									
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。				あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。									
総 時 間 数																		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	外国語【英語】		科目名	論理・表現 I														
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書: Standard Vision Quest English Logic and Expression																		
② 問題集: Standard Vision Quest English Logic and Expression WORK BOOK																		
③ 副教材: Vision Quest 総合英語 3rd Edition																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う																		
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
評価の趣旨	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。			場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用し、自分の意見や考えなどを表現しようとしている。			他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。											
	評 価 の 基 準																	
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)											
				B+		B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期テストと小テストの合計得点が55~79点である。		定期テストと小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
	思・判・表	探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。			探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。			探求的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。										
日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。												
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。			グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。			コミュニケーションを取ることができていない。											
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。			概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。			あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。											
総 時 間 数																		

第1学期	4月	Introduction	1
	4月	LESSON1: I want to introduce my new friend.	4
	4月	LESSON2: Do you want to join our show?	2
	5月	★中間考査	1
	6月	LESSON2: Do you want to join our show?	2
	6月	LESSON3: I'm planning a day trip this weekend.	5
第2学期	7月	LESSON4: Have you ever tried it before?	2
	8月	★期末考査	1
	8月	LESSON4: Have you ever tried it before?	3
	8月	LESSON5: What do you want to do after high school?	5
	8月	LESSON6: Did you hear about the new shop?	5
	8月	LESSON7: I'm happy to have you with us.	2
第3学期	9月	★中間考査	1
	10月	LESSON7: I'm happy to have you with us.	3
	10月	LESSON8: What sport do you like playing?	5
	10月	LESSON9: Digital media has come a long way.	5
	10月	LESSON10: That's why I decided to go back.	2
	11月	★期末考査	1
第3学期	12月	LESSON10: That's why I decided to go back.	4
	12月	LESSON11: Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	5
	2月	LESSON11: Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	1
第3学期	2月	LESSON12: I think it's a good idea.	6
	3月	★期末考査	1
		総 時 間 数	67

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	家庭		科目名	家庭基礎															
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●		●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① 教科書：家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）																			
②																			
③																			
④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 <small>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。 (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。 (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</small>																			
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容を中心に作問				①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施				①授業中の態度や意欲										
	②作品または小テストの出来具合				②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施				②提出物の内容 プリント ③自己評価・振り返り 単元終了後に自己評価や振り返りを実施										
評 価 の 基 準																			
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										
					B+		B-												
知・技	定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。				定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度	課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				課題の解決に真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。										
	自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかを考え表現し、次の活動に活かすことができる。				自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったか考えることはできているがうまく表現できていない。				自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかあまり考えられない。										
																	総 時 間 数	61	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	情報		科目名	情報 I																
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →											第 1 学期	4月	第1章 情報で問題を解決する (情報モラル 著作権) パソコンの基本的な操作 ワープロソフトの操作	2 2 2
教科書・副教材・(発行所)																				
① 教科書 新編 情報 I (東京書籍 情 I 701)																				
② 副教材 新編 情報 I 資料ノート (東京書籍)																				
学 習 の 重 点 目 標																				
1. 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。																				
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。																				
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。																				
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第 2 学期	8月	第3章 コンピューターを活用する (アルゴリズム プログラミング) 表計算ソフトの基本的な操作方法	8 6				
	1. 期末考査にて測る 2. 単元ごとに実技テストを実施			1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る				1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容						9月						
	評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)					第 3 学期	10月	第4章 データを活用する (インターネットの仕組み データ分析) 表計算ソフトを活用し表現する 実技テスト (表計算ソフト)	8 5 1				
				B+		B-								11月	期末考査	1				
期末考査と単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。				期末考査と実技テストの合計得点が55~79点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30~54点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。						12月	第5章 活動して提案する プレゼンテーションソフトの基本的な操作	4 4				
思・判・表													第 3 学期	1月						
探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						2月	プレゼンテーションソフトを活用して伝える 実技テスト (プレゼンテーション)	3 4				
主体性・態度													第 3 学期	3月	★期末考査	1				
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。						総 時 間 数		62				
予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。												
振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有的に活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	情報		科目名	情報 I																	
単位数	2	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →							●					第 1 学期	4月	第1章 情報社会 (著作権 知的財産権 産業財産権)	2
																			5月	パソコンの基本的な操作	2
教科書・副教材・(発行所)																					
① 教科書 高校情報 I (実教出版 情 I 703)																					
② 副教材 高校情報 I 学習ノート (実教出版)																					
③																					
④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
1. 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。																					
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。																					
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。																					
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	1. 期末考査にて測る				1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る				1. 授業中の様子												
	2. 単元ごとに実技テストを実施				2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る				2. 提出物の提出率とその内容				3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容								
評 価 の 基 準																					
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)												
					B+		B-														
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。				期末考査と実技テストの合計得点が55~79点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30~54点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。												
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。												
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有的に活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。												
総 時 間 数																					
																		66			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間														
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 探究ナビBasic・ベネッセ ② 探究活動の進め方・マイナビ ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。																	
	8月～9月 仕事探究① 仕事探究② マナーアップ研修「挨拶・心得」 仕事探究③																	
思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																	
	10月～11月 インターンシップ 実践「課題の設定①」 実践「課題の設定②」 実践「情報収集①」																	
主体性・態度	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。																	
	12月～1月 実践「情報収集②」 実践「整理・分析①」 実践「整理・分析②」																	
2月～3月 実践「まとめ・表現①」 実践「まとめ・表現②」 実践「表現」SKY 実践「振り返り①」SKY																		
総 時 間 数																	56	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間														
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →		●										
教科書・副教材・(発行所)																		
① Locus Program 探求型ケーススタディ(マイナビ)																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。																	
	Unit6 理想の地域実現案を作る マイナビ講演会																	
思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																	
	Unit6 理想の地域実現案を作る マイナビ講演会																	
主体性・態度	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。																	
	Unit7 地域と自分の未来を描く																	
																	総 時 間 数	25

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース							C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	総合的な探究の時間		科目名	総合的な探究の時間														
単位数	1	学科	普通科	学年	1年	該当するコース・科 →			●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：課題探求メソッド（啓林館） ② 副教材：課題探求ノート（啓林館） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。また、探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題研究の各段階における手法，論文の作成・執筆方法，様々なプレゼンテーション方法やその技法について，各段階での提出物の完成度や，調査・実験などの取り組みなどを見て総合的に評価する。																	
	思考・判断・表現	自ら見つけた研究課題に向き合って解決していく過程や，まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていく力などについて，授業中のディスカッションや発表への参与態度や内容に加え，各段階で作成された提出物や研究論文，プレゼンテーションなども含めて総合的に判断する。																
主体性・態度		授業中の意欲や取り組む姿勢，課題への取り組み姿勢などに加え，課題研究を進めていく際のスケジュール調整力や，多方面への働きかけ方などを各段階で見て，総合的・多角的に評価する。また，長期休業中などの実験や研究論文の執筆，プレゼンテーションの準備などに取り組む姿勢も含めて評価する。																
	第1学期	4月	序章：課題研究を始める前に															
第1学期	5月	1章：研究テーマを決めよう ○研究テーマの決定																3
第1学期	6月	1章：研究テーマを決めよう ○研究テーマに関する知識の拡大・整理																3
第1学期	7月	2章：リサーチクwestionsを導こう ○問いを立てる																2
第2学期	8月	2章：リサーチクwestionsを導こう ○先行研究について																3
第2学期	9月	3章：仮説を立て、適切な研究方法を選ぼう ○仮説立て																2
第2学期	10月	3章：仮説を立て、適切な研究方法を選ぼう ○仮説立て																4
第2学期	11月	○調査・実験の実施方法について ○研究を進める上での注意																2
第2学期	11月	○研究を進める上での注意																1
第3学期	12月	中間目標 ○研究計画書の作成																3
第3学期	1月																	
第3学期	2月	中間報告 ○報告・発表会																2
第3学期	3月																	
総 時 間 数																	26	